

学生会だより

東北学生会の活動 (東北学生会)

東北学生会は東北6県(青森, 秋田, 岩手, 宮城, 山形, 福島)の大学10校, 工業高等専門学校6校の計16校で構成されており, 約200名の学生会員が所属する組織である。本稿では東北学生会の活動を紹介する。

1. 「メカライフの世界」展・機械の日

小中学生, 保護者および一般の方々に機械工学を体験して身近に感じてもらうために「メカライフの世界」展を開催している。2013年度は表1の6校にてオープンキャンパスや一日体験入学などのイベントに併設して開催を予定している。各校でさまざまなテーマが設定されており, たとえば, NCマシンを使ったネームプレートの作製, 水路を登る水車作り, ソーラーカー模型の作製, 風を使った空気砲のゲーム, 相撲ロボットの実演, 電気自動車の試乗などが企画されている。工夫を凝らして機械工学の魅力やものづくりの楽しさをアピールしている。

8月7日の「機械の日」を中心に各校では機械の日にちなんだイベントを開催している。山形大学では8月2日のオープンキャンパスにおいて, 機械の日のPR活動を行った。機械システム工学科の研究紹介ポスター展示に合流して, 機械の日の幟を立ててポスターを展示し, 高校生や一般の方々にパンフレットを配布して機械工学および本会を紹介した(図1)。

2. 機関誌「電子コンパス」

東北学生会では機関誌「電子コンパ

表1 2013年度「メカライフの世界」展

学校名	テーマ
八戸高専	機械工学科ってなに?~スタンプラリーで見て回ろう!
鶴岡工業高専	親子で楽しむ科学の祭典
秋田県立大学	ソーラーカーが走る! 2013
岩手大学	風を知り風と遊ぶ
一関工業高専	さわって動かす機械とロボット
いわき明星大学	楽しいメカワールド



図1 機械の日のPR(山形大学)

ス」を発行しホームページで公開している(<http://www.jsme.or.jp/th/student/compass/>)。卒業研究, サークル活動, 趣味などを通して学生生活で経験したことや日々考えを巡らせていることなど多種多様な事柄を題材にしたエッセイが掲載されている。テーマは執筆者に自由に設定してもらっており学生のさまざまな経験や個性などが表れていて, どれも読み応えのある内容である。毎年, 20~30件寄稿されているので, ぜひ, 読んでいただきたい。

3. 東北学生会卒業研究発表講演会

東北学生会第43回卒業研究発表講演会が2013年3月11日に一関工業高等専門学校で開催された。昼から

ランチミーティング形式で総会を開催し, 午後から卒業研究発表講演会を行った。89件の活発な研究発表が行われ, 優れた発表に対しては独創研究学生賞を授与した。2013年度の第44回卒業研究発表講演会は2014年3月11日に山形大学工学部で開催予定である。例年, 東北学生会では口頭発表形式で実施されているが, 本年度はすべての発表をポスター形式で実施することにした。ポスターを使った研究説明を通して学生同士が身近な距離で交流し, 活発に議論してもらえることを期待している。

(山形大学工学部助教 吉田健吾)

**北陸信越学生会の活動
(北陸信越学生会)**

北陸信越支部の特徴は、他の地方支部と同様に各学校が地理的に離れており、学校間の日常的な交流が難しい点が挙げられる。本支部においても福井～長野の参加校間の移動には片道6時間程度かかる場合もあるため、日帰りでの行事は不可能に近い。また学生は旅費の独自の捻出が難しいため、学生会活動費の多くは運営委員や学会参加者への旅費補助に当てられるのが特徴となる。

そのような状況の中で、2014年度末には金沢までの北陸新幹線が開業する予定である。これにより、移動時間短縮が見込まれ、各種のイベントが日帰りで開催しやすくなることが期待される。ただし同時に、補助旅費の増加も予想され、新幹線の開業に合わせた活動指針を策定する必要性が生じてくるものと思われる。

以下に北陸信越学生会における最近の活動状況を報告する。

1. 第一回幹事校会の開催

2013年7月27日に2013年度第一回の幹事校会が富山大学工学部で開催され、会員校運営委員21名、幹事・顧問教員2名が参加した(図1)。2013年度は委員長校として富山大学、委員長として富山大学番匠光平君が選出された。また、幹事校会の後、夕方には富山市において懇親会を開いて運営委員の交流を深めた。

2. 「メカライフの世界」展の開催

2012年度「メカライフの世界」展は表1に示す3校において実施した。「メカライフの世界」展は実験と展示により子どもに機械や機械工学についてわかりやすく教え、機械や機械工学に興味を持たせることにより将来の機械工学を担う人材の育成につなげることを目的としている。各校とも興

表1 北陸信越学生会 2012年度「メカライフの世界」展

学校名	開催日	テーマ名	参加者
信州大学工学部	2012.7.22	自作ロボットの実演 (NHK 大学ロボコン出場ロボットの紹介)	約 30名
富山県立大学	2012.8.4	てづくりレースカーを見てものづくりを感じよう!	約 60名
福井大学	2012.8.8	メカトロニクスを体感する	約 120名



図1 第一回幹事校会



図2 メカライフの世界展の一例(信州大学)

味深いテーマを取り上げ、趣向を凝らしてわかりやすい実験・体験や展示を心掛けていた。テーマや実施方法により集客数は異なるものの、多くの人に機械工学の面白さを伝えられたと考えられる(図2)。

3. 学生員卒業研究発表講演会の実施

第42回学生員卒業研究発表講演会が2013年3月8日(金)に福井大学において開催された。発表件数121件、参加登録者数は220名であった。2012年度は9室の会場で18セッションが執り行われた。卒業研究1年間の総まとめとして取り組んできた研究について学生が自ら発表し、その発表に対して聴講している学生も含めて活発な討論が行われた。この発表会では、各セッションにおいて座長も学生員自身が行い、教員はアドバイザーとしてのみ参加する。進行役としての座長の作業にまだ慣れていない部分も見受けられたが、これが貴重かつ大きな経験になっていくことに期待したい。

なお、2012年度から講演論文は冊子やCDではなくUSBメモリへと変更している。例年と同様に1500円にて販売をしたが、売れ行きは昨年同様よくはなかった。2013年度は、製作数を調整するなどの工夫をした



図3 第42回学生員卒業研究発表講演会の懇親会

い。2013年度は富山大学で開催が予定されている。

学生員卒業研究発表講演会の後、学生会総会が行われた。今回も2012年に引き続き、運営委員が司会進行から、議事録作成まで学生のみで行った。総会は、学生会の具体的な活動について確認するよい機会となった。総会に引き続き、懇親会も開催された。懇親会は、卒業研究発表講演会講演者および学生会運営委員、教員合計65名が参加し、学生賞の発表および授賞式も同時に開催された。総会および懇親会では、情報交換や発表の慰労などとともに、学生会活動への要望なども語られ、重要な意見集約の場ともなっている(図3)。

(川井昌之 福井大学大学院、
木村弘之 富山大学大学院)